

(様式1)



平成 30 年 4 月 12 日

つくば市記者会 御中

つくば市政策イノベーション部企画経営課

スイスオリンピック協会・筑波大学・茨城県・つくば市の4者による事前キャンプ基本合意書の締結について

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼

イベント・会議等の取材依頼

イベント会議以外の事業の周知依頼

参加者募集の告知依頼

その他 (式典開催結果の周知依頼

)

全4枚 (本紙含む)

<概要>

平成 30 年 3 月 22 日付けプレスリリースの通り、スイスオリンピック選手団の事前キャンプに向けて、筑波大学 永田学長、茨城県 大井川知事、つくば市 五十嵐市長がスイスを訪問し、4月11日、スイスオリンピック協会(SOA)との間で基本合意書を締結いたしました。また、これに併せて国際オリンピック協会(IOC)のトーマス・バッハ会長へ表敬訪問を行いましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、別紙を御参照ください。

スイスオリンピック協会・筑波大学・茨城県・つくば市の 4者による事前キャンプ基本合意書の締結について

○スケジュール（スイス・ローザンヌ、現地時間）

平成 30 年 4 月 11 日（水）

11 時～ 基本合意書締結式（「Synathlon」（AISTS オフィス）

（AISTS: International Academy of Sports Science and Technology）

16 時～ トーマス・バッハ IOC 会長表敬訪問（IOC 本部）

○訪問者

茨城県 : 大井川知事、工藤オリンピック・パラリンピック監

つくば市 : 五十嵐市長、久保田秘書課長ほか

筑波大学 : 永田学長、ベントン副学長、大根田教授（国際室長）、真田教授ほか

基本合意書締結式

五十嵐市長は、締結式に出席し、以下のとおり挨拶を述べました。（スピーチは英語。以下、その概要の和訳）

○スイスチームの皆様が日本の環境に慣れ安心して練習に打ち込めるよう、地元自治体として全面的にバックアップするとともに、選手団やコーチなどの関係者と地域の子どもたちが触れ合う機会を設け、子どもたちが夢やあこがれを得られる機会としてまいりたく思います。そして 2020 年に大会が開催される際には、スイスチームの皆さんを、日本チームと同じように、つくば市民一同で応援したいと思えます。

○本市には、オリンピックの体操で日本人最多の金メダル 8 個を獲得した加藤澤男氏が、名誉市民としてお住まいになっています。今回を機に、子どもたちがオリンピックを目指し、次の加藤氏がつくばから育つことを期待します。

○つくば市は世界有数のサイエンスシティであり、市内には数多くの大学・研究機関が集積しています。その中の一つの高エネルギー加速器研究機構は、スイスの CERN と緊密な関係にあり、両者の協力がヒッグス粒子という人類の発展に資する大きな成果を生み出しました。今回を機に、つくば市とスイスの友好関係がさらに深まり、研究分野はもとより様々な分野での交流に繋がることを期待いたします。

また、調印後、SOA よりスイス代表サッカーユニフォームを 3 者へ、3 者から日本代表サッカーユニフォームを SOA に贈呈し、互いに記念品を交換いたしました。



1. SOA 東京 2020 ディレクター ラルフ・シュトックリー (Mr. Ralph STOCKLI) と五十嵐市長



2. 調印文書（左から、つくば市 五十嵐市長、筑波大学 永田学長、SOA 東京 2020 ディレクター ラルフ・シュトックリー、茨城県 大井川知事）



3. 記念品交換（並びについては同上）

IOC バッハ会長表敬訪問

筑波大学 永田学長、茨城県 大井川知事、つくば市 五十嵐市長の3者により、IOC バッハ会長への表敬訪問を行いました。五十嵐市長からは、2020年の東京オリンピックやスイス選手団の事前キャンプに向けた期待が述べられました。また、訪問の記念として、つくば市在住の日本画家である、中寫虎威（なかじま とらたけ）先生が描かれた筑波山の絵が贈呈されました。



1. IOC トーマス・バッハ会長（右から3番目）と訪問者一行